

科 目 名		学年	
情報処理Ⅲ : Information Processing Ⅲ		4C	
教 員 名 藤本 勉 : FUJIMOTO Tsutomu			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	必修	演習・前期
学 修 単 位			
○			
授 業 概 要			
C言語のプログラミングを通じ、情報処理の基礎概念や基礎技術を学ぶ。授業の形態は教室で講義をおこない情報処理センタでプログラムの作成を行う。演習の結果は報告書にまとめてメールで送ることとする。教科書はハンドブック的に使用し、必要に応じて資料を配布する予定である。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
1. プログラムの編集、コンパイル、実行ができる 2. 入出力判断繰り返しを使用できること 3. 小さいプログラムの基本構成が記述できること 4. 報告書が書けること。		評価方法は、①中間試験(35%)、②期末試験(35%)、③レポート(20%)および④自学自習によるレポート(10%)によって評価する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(B)①	JABEE基準1(1)
			(c)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	プログラミング入門1	プログラミングの環境とその操作方法
	第2	プログラミング入門2	開発言語の概要
	第3	プログラミング入門3	開発環境とその使い方
	第4	入出力関数の使用法	printf、scanf関数の使い方
	第5	繰り返し技法	for、while、do文の使い方
	第6	繰り返し技法	for、while、do文の使い方
	第7	繰り返し技法	for、while、do文の使い方
	第8	演習1	for、while、do文を応用した演習
	第9	演習1	for、while、do文を応用した演習
	第10	条件による制御方法	ifやswich文の使い方
	第11	条件による制御方法	ifやswich文の使い方
	第12	演習2	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見のプログラムで入門技法を習得する。
	第13	演習2	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見のプログラムで入門技法を習得する。
	第14	演習2	平方根、最大公約数、2進10進変換、素数発見のプログラムで入門技法を習得する。
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。	
自学自習の内容		課題として演習問題を示す。レポート課題を課す。	
関連科目	情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ、情報処理Ⅳ、情報処理Ⅴ、情報処理Ⅵ		
教科書	C言語によるプログラミング基礎編(内田智史:オーム社)		
参考書	C言語によるプログラミング応用編(内田智史:オーム社)		
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員	品川 恵美子 : SHINAGAWA Emiko		
備考			